

いよいよ明日は、生徒会役員選挙

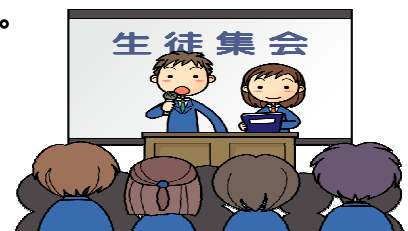
新しいリーダーを、一人一人の清き責任ある一票で選ぼう！！

さあ、明日は、城山北中の新たな歴史をリードしていく生徒会役員選挙の立会演説会、そして、投票があります。この城山北中学校をよりすばらしい「みんな輝いているね」の学校にしていくためには、すべて、明日の484名の生徒のみなさんの清き一票にかかっています。それぞれの候補者の公約や態度などをよくよく見て、この城山北中のために心からの一票を投じてください。「清き一票」には、選んだ責任がともないます。自分たちが選んだ以上、そのリーダーを支えたり、意見を伝えていったりするという責任がともないます。決して「選んで」終わりではありません。責任ある一票を投じてください。そのことが、城山北中学校をすばらしくしていくことにつながります。生徒会長三河内君をはじめ今の生徒会執行部の一生懸命さや誠実さをしっかりと引き継ぎ、ますます「みんな輝いているね」の生徒会スローガンに向けて取り組んでいけるリーダーを選出して欲しいと思います。

どの候補者も毎朝正門のところでクラスの仲間にも支えられ、声をはりあげて、自分の公約を胸に一生懸命にみんなにうたえています。城山北中のリーダーとして、「責任ある」行動・態度と「すばらしい城山北中生徒会の伝統をつくろうとする」意欲に期待しています。

会長	竹内 章	生活委員長	高田 萌加
	平垣内 信	文化委員長	森兼 拓也
副会長	吉田 智春	保健委員長	石橋 末侑
	関本 愛美	体育委員長	刑部 晴斗

◎会長は、選挙投票。他は、信任投票。



腰塚勇人(こしづかはやと)さんの講演「命の授業」を聴いて・・・

11月27日(日)、井口台中で市立中学校のPTA研修会がありました。その中で、午前中に、腰塚さんの「命の授業」という講演会がありました。昨年7月にフジテレビ系列「奇跡体験アンビリバボー」でとりあげられた方です。「命の授業」という本も出版されています。知っている人も多いのではないかと思います。現在、ユーチューブでも配信されています。

腰塚さんは、もともとは中学校の保健体育の教員でした。2002年3月(2年生の担任をしている時)に、スキーで大けがを負い、幸い一命をとりとめましたが、首から下の全身マヒとなり、お医者さんから、「命を救う手術は成功したとしても、寝たきりか、車椅子の生活になるでしょう、仕事復帰も無理でしょう。」と言われたそうです。しかし、家族、学校の先生方、生徒、病院の先生方など多くの方々に励まされ支えられながら懸命のリハビリを経て、11月には、3年生の担任として見事に学校に復帰されました。今でも、身体の一部にマヒは残っておられますが、奇跡的な回復をされました。2010年には、教員を退職され、現在は、全国を巡って、「命の大切さ」「生きていることのすばらしさ」「日々の生活の中の当たり前大切な幸せ」について講演活動をされています。1時間半の講演でしたが、その一言・一言が感動的で、とても重みのある言葉でした。すべてが、印象深いお話だったのですが、特に、心に刻まれたお話(言葉)の一端を紹介します。

・「人の力を借りて生きる人は決して弱い人ではない。人は、互いに助け合って生きていく存在である。」「そのためには、自分の弱い部分や悩み・不安なこと等が語れる人の存在、つまり、聴いてくれる人の存在を持つことがすごく大切である。」「そうした存在が自分の周囲にいと、自分の人生に夢が持てる。そして、夢は生きる力になる。」(自分を語ること・聴くこと、夢を持つことの大切さ)

・「自分自身がドリー夢メーカーになる。ドリー夢メーカーとは、『パワーチャージャー(元気・勇気を与える)、リスクティカー(一緒に失敗などに責任をとる)、ほっとマン(助けてくれる、許してくれる)』という存在。そうしたら、自分の周囲にいつのまにか、他のドリー夢メーカーが集まってきてくれる。」(自分を変える)

・「目は、人のよいところを見るために使おう」、「耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう」、「口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう」、「手足は人を助けるために使おう」「心は、人の痛みがわかるために使おう」(五感を人のために使うことは、自分の人生をも豊かに幸せにする)